

平成 18 年度活動概況

1. 会議の状況

4 回の研究協議会(第 1 回は兼総会)と 4 回の研究委員会、役員代表者会を開催した。

月日	会議名	会場	主な議題
6月2日 (金)	総会兼第1回研究協議会	東京国立博物館セミナー室	・平成17年度活動報告 ・平成18年度活動計画の協議決定
	第1回研究委員会		・調査研究の方向・内容の検討
9月22日 (金)	第2回研究協議会	東京文化会館	・平成20年度修学旅行新幹線輸送計画 申込み状況並びに輸送計画割付原案
	第2回研究委員会		・調査データに基づく考察
10月27日 (金)	第3回研究協議会	東京文化会館	・平成20年度新幹線輸送計画の決定 ・JR2社との意見交換会
	第3回研究委員会		・調査データのまとめ
平成19年 2月7日(水)	役員代表者会	東京国立博物館セミナー室	・平成18年度活動のまとめ ・平成19年度活動の対策
2月23日 (金)	第4回研究協議会	東京文化会館	・平成18年度活動のまとめ
	第4回研究委員会		・平成18年度活動計画の協議

2. 連合体計画輸送の状況

(1) 平成18年度計画輸送の実施

平成18年度修学旅行の専用列車(定期混乗列車含む)は、関西方面へ春期3コース・秋期1コース、東北方面2コースを5月9日(火)から9月30日(土)まで延べ159日間運行し、786校115,530人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。

5月9日、専用列車第一便の出発にあたり東京駅東海道新幹線ホームにて乗車校の代表生徒・引率責任者、関修委を代表して秋池功運営委員(埼玉県修学旅行対策部長)並びに関係者が出席し出発式を実施した。

平成18年度修学旅行専用列車実施状況

(校、人)

県 コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	43	6,385	98	13,921	16	1,344	216	35,014	95	14,978	468	71,642
B	83	10,938	23	1,918	22	1,692	52	7,784	28	3,382	208	25,714
C	2	293	0	0	0	0	38	6,739	52	8,409	92	15,441
秋期C	0	0	0	0	0	0	13	2,171	0	0	13	2,171
関西合計	128	17,616	121	15,839	38	3,036	319	51,708	175	26,769	781	114,968
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	3	299	3	299
東北・山形	0	0	0	0	0	0	0	0	2	263	2	263
東北合計	0	0	0	0	0	0	0	0	5	562	5	562
総合計	128	17,616	121	15,839	38	3,036	319	51,708	180	27,331	786	115,530

コース別運行期間

	Aコース	Bコース	Cコース	東北、東北・山形
運行期間 ・日数	5/9～7/11 64日間	5/9～6/2 25日間	春期 5/9～6/24 47日間 秋期 9/16～9/30 15日間	5/15～5/19 5日間 5/22～5/24 3日間

(2) 平成 20 年度修学旅行専用列車の輸送計画の策定

1) 割付け・組み合わせから発表までの手順

6月	2日	総会・第1回研究協議会	...	20年度輸送計画の大綱決定
	上旬～下旬		輸送申込書等配付(各県)
7月	20日		20年度輸送申込み締切
8月	10日		申込み集計の事務局送付
9月		<事務局にて割付原案の作成>		
	22日	第2回研究協議会	20年度輸送計画原案作成
10月	9月下旬～10月中旬		割付原案による確認、調整(各県)
	27日	第3回研究協議会	20年度輸送計画の決定
11月		<事務局にて輸送計画書(冊子)の作成>		
	24日頃	輸送計画書の各県委員会への送付		
			各県委員長から学校への輸送計画書配付
	30日		20年度輸送計画発表、HPに掲載
2月	8日	JR輸送申込書を旅行社経由で提出		

2) 輸送計画(案)の確認と決定

平成 20 年度修学旅行専用列車の申込み数並びに組み合わせ原案の状況については、9 月 22 日開催の第 2 回研究協議会に報告し、その後各県での確認及び調整の会議で確認された。

平成 20 年度修学旅行専用列車割り付けの学校数と生徒数

(校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増 減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	42	6,200	95	13,002	17	1,400	167	27,772	112	17,358	433	65,732	-29
B	82	10,504	26	1,858	20	1,519	68	8,753	28	3,279	224	25,913	8
C	2	217	0	0	0	0	75	13,082	40	6,283	117	19,582	40
秋期	0	0	0	0	0	0	14	2,453	0	0	14	2,453	0
4月春	1	98	0	0	0	0	0	0	5	666	6	764	6
合計	127	17,019	121	14,860	37	2,919	324	52,060	185	27,586	794	114,445	25
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	2	195	2	195	-2
東北山形	0	0	0	0	0	0	0	0	3	433	3	433	1
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	1	37	1	37	1
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	3	537	3	537	2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1,202	9	1,202	2
総合計	127	17,019	121	14,860	37	2,919	324	52,060	194	28,788	803	115,647	27
対前年	-3	-238	0	-408	0	-30	3	1,484	9	1,217		2,007	

対前年数は、輸送計画決定後の追加申込みを含む校数・人数による。

割付け日程

コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	4月春
5/8～7/5 59日間 65,714名 1日平均1,114名	5/8～5/30 23日間 25,913名 1日平均1,127名	春 5/8～7/3 57日間 19,582名 1日平均344名 秋 9/22～9/28 7日間 2,453名 1日平均350名	4/17～4/18 2日間 493名 1日平均247名
東北・山形・秋田	長野		
5/13、5/15、5/20～21、 5/25、5/28 6日間 665名 1日平均111名	5/27～29 3日間 537名 1日平均179名		

2) 輸送計画の発表

11月30日(木)を発表日とした。同日午前中に、関修委ホームページに掲載した。

3) 輸送計画書の作成と配付

平成20年度修学旅行新幹線輸送計画の冊子を作成し、利用校並びに独自実施校、地方教育委員会へ各1部を配付した。

3. 研究調査活動について

(1) 研究委員会の活動状況

1) 会議の状況

- 第1回研究委員会 6月3日(東京国立博物館セミナー室) 調査の方向・骨子の検討
- 第2回研究委員会 9月22日(東京文化会館) 調査データ等の考察
- 第3回研究委員会 10月27日(東京文化会館) 調査報告書のまとめ
- 第4回研究委員会 2月23日(東京文化会館) 今年度の反省、次年度案について

2) 調査内容・まとめ

平成18年度修学旅行の実施状況並びに修学旅行での体験学習について、全設置校を対象に調査を行い、「平成18年度修学旅行の実施状況並びに修学旅行における体験学習アンケート」集計結果の分析と考察として報告書を作成し、11月22日第42回修学旅行研究発表会で報告するとともに、各県の委員会(部)に配付した。12月8日Emailで、各校に発信した。

(2) 第42回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

日時 平成18年11月22日(水) 13時30分～16時30分

会場 流山市生涯学習センター(千葉県流山市)

内容 主題「修学旅行における『学び』の創造」

・関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動並びに研究調査報告

関東地区公立中学校修学旅行委員会 種田齊吾研究委員長

・研究発表1 「ふれあい・体験・大人から学ぶ山形の旅」

- 3年間を見通したキャリア教育を核として -

千葉市立みつわ台中学校 平野 正春 教諭

・研究発表2 「日本文化探究をとおした生徒の向上」

流山市立南部中学校 村山 義則 教諭

・指導講評 千葉県教育委員会教育振興部指導課 大槻 秀一 先生

・各県の参加人数

千葉県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	全修協	一般	合計
147名	11名	12名	4名	18名	4名	7名	203名

一般は、修学旅行受け入れ機関・団体、旅行実施会社

(3) 現地視察会

1) 愛知・伊勢志摩修学旅行現地視察会

- ・実施月日 平成18年8月2日(水)～4日(金) 3日間
- ・参加者 11名(栃木県1名、埼玉県2名、千葉県5名、事務局2名、全修協名古屋事務局1名)
- ・視察内容 愛知県のものづくり(自動車関連施設)と伝統産業、伊勢志摩の自然体験
豊田市/トヨタ記念館・トヨタ自動車堤工場、名古屋市/有松・鳴海絞り会館
鳥羽市/鳥羽水族館(バックヤードの見学)、答志島(カゴ漁、定置網、干物づくり
他漁業体験)、各地にて意見情報交換会を実施

2) 神戸市修学旅行現地視察会

- ・実施月日 平成18年8月18日(金)～19日(土) 2日間
- ・参加者 9名(群馬県2名、埼玉県3名、千葉県2名、事務局2名)
- ・視察内容 震災学習と貿易港神戸の歴史と文化
人と防災未来センター(語り部ボランティアの震災体験講話)、神戸海洋博物館・
カワサキワールド、ボランティアガイド案内・解説による旧外国人居留地跡・北
野異人館、神戸花鳥園、宿泊箇所での受入れ状況(神戸オリエンタル H)、神戸市
役所で情報交換会

(4) 修学旅行学習資料「関西の旅」全改訂新版の発行

- ・平成14年度、部分改訂後。逐次最新情報に更新。
- ・平成19年度分から、表紙・内容レイアウトの改訂並びに価格維持のため広告の掲載及び京都
修学旅行関係資料と合せた見本発送。(第1回研究協議会で協議・決定)
- ・平成19年度修学旅行用として、11月中に発行所より見本を各学校に送付。

4. 陳情・要請活動について

(1) 平成19年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

陳情先・月日

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課長 8月30日(水)

財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 8月30日(水)

陳情者(5団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会、東海三県中学校修学旅行委員会、近畿地区公立中
学校修学旅行委員会、あおぞら号近畿地区運営協議会、財団法人 全国修学旅行研究協会

陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に修学旅
行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

平成 19 年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)

行事	学校種別	要望額	決定額
修学旅行	中学校	56,100	55,900
	小学校	20,800	20,600
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,940
		宿泊を伴わない場合	2,280
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570
		宿泊を伴わない場合	1,610

対象人数 (人)

種別	小学校	中学校
17 年度	12,892	12,266
18 年度	13,064	12,518
19 年度	14,762	14,057

(2) JR との意見交換について

10 月 27 日(金)第 3 回研究協議会において、JR 東海、JR 東日本との意見交換会を開催した。事前に各県からの意見・要望事項をとりまとめ、JR 関係箇所へ事前提出を行った。

5 . 他団体との連携

(1) 第 23 回全国修学旅行研究大会

日 時 平成 18 年 11 月 11 日(土)

会 場 日本科学未来館(東京臨海副都心お台場)

主 催 財団法人全国修学旅行研究協会

内 容 「修学旅行における『学び』の創造」テーマに、実践発表とシンポジウム

参加者 138 名

(2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会

日 時 平成 19 年 1 月 26 日(金) 14:00~16:00

会 場 全日本中学校長会館会議室

主 催 財団法人全国修学旅行研究協会

内 容 各委員会の活動と修学旅行に関する情報・意見交換

出席者 近畿地区公立中学校修学旅行委員会会長 森永正幸(亀岡市立詳徳中学校長)、東海三県中学校修学旅行委員会・愛知県代表 三輪 豊(一宮市立大和南中学校長)、関東地区公立中学校修学旅行委員会運営委員長 森 収(流山市立南流山中学校長)、財団法人全国修学旅行研究協会理事長 中西 朗、他各事務局長・部長